

# 地域とのつながり

# 子ども食堂



安来市長  
田中 武夫

かばほうすホールディングス株式会社  
代表取締役  
松田 幸紀

子ども食堂ごはんだよ  
代表責任者  
板垣 学

(しまね子ども食堂ネットワーク事務局)  
島根県社会福祉協議会 地域福祉部  
地域福祉係  
子ども食堂推進  
コーディネーター  
梶谷 友貴  
主任  
景山 俊太郎

「子ども食堂」とは、子どもが一人でも行ける無料または定額の食堂です。利用する背景には、経済的な理由で十分食事をとれない、親の帰りが遅く一人でご飯を食べなくてはならないなど食事や生活にそれぞれの事情があります。子どもたちのために、地域・団体が温かみのある場所や、ふれあい、会話できる場所を提供しようという思いから子ども食堂は広がりを見せています。

新春座談会では、毎日開催している子ども食堂の代表者、サポート企業、支援機関を招き、開催・運営に関する課題や工夫していること、今後取り組みたいことなど「これからの子ども食堂」について語り合ってもらいました。



田中市長(以下、市長) 子ども食堂「ごはんだよ」で、私も食事をいただきました。話には聞いていても驚きましたね。普通に飲食店で出される食事ができました。毎日開催しているのもインパクトがあります。

松田幸紀(以下、松田) コロナ禍の前から子ども食堂を当社でやりたいという思いがもともとあったんです。米子で月一開催している子ども食堂に料理を提供させてもらっていて、子どもは楽しそうにしているけど、元気のない親御さんが実際にいらっしやるんですね。

僕は飲食店を経営しているので、毎日料理を提供しています。宴会があつて、宴会場を片付けるときにやたら料理が残ったりすることがあります。持ち帰りを推奨していますが、持って帰らない人も多くて、もつたないけど全部ごみになるんです。一方では足りなくて、もう一方では廃棄するということ矛盾をずっと感じていました。子ども食堂を運営している飲食店に相談しながら、社内では、コロナが終わったら子ども食堂を始めようと話をしました。

偶然のマッチング



## 板垣 学

保護司・少年補導員・防災士など、さまざまな分野で地域を支援する活動をしている。多くの支援団体で活動する中、子ども食堂の必要性を痛感。同級生の松田代表取締役と共同で「ごはんだよ」を開設。

ただ、料理はできるけど店を営業しながら、利用者のケアができるかという点、すごくハードルが高くて。という時に、同級生の板垣さんと違う話を話している中で、実はこうこうこうなんだよねって言ったたら、板垣さんも実はそうなんですよと意気投合したというのがスタートでした。

ことが最初のきっかけですね。その後、私が小学校のPTA会長をしているときに子どもに関する悲しい事件がありまして。そのときに、お母さんの苦しい状況を聞ける場所や子供が行ける場所があったらこんなことにならなかつたのでは、そんな場所がどうにかできないかと思っただけです。ただ、子ども食堂をやりたい場所がない、資金がない、調理する人もいない、という状況でした。そのような中で、偶然再会した松田さんと話をしたとき、丁度足りないとこを補い合えることがわかって、じゃあ一緒にやろうとなりました。



## 松田 幸紀

「地元山陰の素晴らしさを全国へ届け、山陰を全国区へ」を合言葉に山陰・山陽エリア、関西エリア、海外へ飲食店等を展開。元気に楽しく、幸せにする店作りを企業理念に、子ども食堂の運営を考え、同級生の板垣代表と共同で「ごはんだよ」を開設。

景山俊太郎（以下、景山）わたしたちしまね子ども食堂ネットワーク事務局は、令和3年度から島根県の委託を受けて、子ども食堂関係者の相談対応をしています。全国的に子ども食堂は年々増えています。実は認定NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ（以下、「むすびえ」）の令和2年の調査で、島根県内の子ども食堂は18カ所で全国最下位でした。翌年度からサポート事業が始まり、令和4年度末には74カ所、令和5年度末は93カ所、今年度は11月末で119カ所の食堂が活動されています。

梶谷友貴（以下、梶谷）令和5年11月に板垣さんから事務局のホームページに問い合わせいただいたことから支援を開始しました。そこから安来市社会福祉協議会とも関わりを持って、ボランティア募集や助成金申請について対応しました。全国でも常設型の子ども食堂は2%しかなく、島根県内にもありませんでした。事務局にも常設型に対するノウハウがなく、独自に調べたり、むすびえに情報提供いただいたりして、板垣さんにつなげるという形でした。むすびえから、常設型の食堂に、夜、子どもが変質者に追いかけられたが、子ども食堂へ逃げ込めたというお話を聞き



やるなら毎日



景山 俊太郎 (右)  
梶谷 友貴 (左)

子ども食堂運営者情報交換会の開催や子ども食堂に関する情報収集・発信、子ども食堂応援アドバイザーの派遣などを行う。

ました。一方で、店舗が子ども食堂としてふさわしくないのではという意見も一定数あると伺いました。

**景山** 対策として「ごはんだよ」でもされていますが、出入口や店舗内の空間をどちらのお客様さんかで分けるという工夫が重要だと情報提供しました。そういった工夫や安来市社会福祉協議会から食堂開設立ち上げの資金補助などを利用して無事開設に至っています。

**板垣** やるなら毎日したいし、夏休みなどの長期休みにも対応したい。動き出せたのが令和5年11月だったので春休みには間に合いませんでしたが、7月17日にオープンしました。約5ヶ

月が過ぎ、12月10日までで延べ2600人に利用いただきました。

開始前は困っている家庭はあるのだろうけど、実際そんなに来られるかと心配をしていました。始まってみるとメディアなどの影響で、ファミレス感覚でいろんな人がこられました。最近はいぶ落ち着いてきて、子ども食堂が必要な人が毎日こられるようになってきたと感じています。

**市長** 「ごはんだよ」に行ったとき、板垣さんがずっと皆さんに話しかけておられましたね。特にお母さんに話しかけてあげられていて、ああいいなと思っただけです。声がけすることで信

頼関係ができていくということですね。なかなか出来ないことだと思います。

**板垣** だんだん慣れてきてもらえて、お手伝いもしてくるし、「ただいま」と言って食堂に来てくれる子もいます。

子ども食堂を利用して、若干、金銭的に余裕ができたようで、「子どもの誕生日に今までショートケーキしか買えなかったけど、今年は、一番ちっちゃいけどホールケーキが買えるようになった」と聞いて、やっていて本当によかったなと思いました。



続けるために休みます

**板垣** 毎日やると決めて始めたんですけど、利用者さんから「お盆とかお正月は、休んでください」と言われました。ずっと食堂をされていて、途中で倒れられたら私たち食べられなくなりま

すと。配膳は私たち夫婦と娘、ほかにボランティア1人に対応しています。食堂の開催時間は夕食の時間帯で毎日なので、なかなかスタッフが集まりません。スタッフは常に募集しています。

食堂を休んでいる間の食事をどうするかが課題で、実はフー



▲田中市長は3種類（肉・魚・日替わり）の定食から魚を選択。

ドバンクもやろうかなと考えています。お中元やお歳暮などの頂き物で、食べきれない素麺などありますよね。それらを子ども食堂に寄附してもらい、食堂が休みの間、利用者さんに渡して家庭で食べてもらいます。誰にでも配るわけにならないので、登録型のフードバンクを計画しています。

**松田** お盆や年末年始は夏休みや冬休みと重なるので、食堂がなかったら一食も食べられない可能性があるので、やっぱり不安なんです。お盆はボランティアスタッフがいないけど、ドアベルを鳴らすと、当社のスタッフがお弁当を渡すようになっています。今後はお弁当かフードバンクかの2通りを考



## 田中 武夫

令和2年10月から市長となり、令和6年10月に2期目がスタート。就任時から「オールやすぎ」による「次の世代につなげる安来市づくり」を掲げ、地元産の金芽米を活用した子どもたちの健やかな成長と子育て世帯への負担軽減や医療費の無償化など子育て支援策に取り組んでいる。

**松田** 体験型がいいですね。食育体験も当社なら寿司もできれば肉も焼けて、魚も捌くしベーカーリーでパンも焼けます。  
**市長** そうやって人を集めたら

**松田** 体験型がいいですね。食育体験も当社なら寿司もできれば肉も焼けて、魚も捌くしベーカーリーでパンも焼けます。  
**市長** そうやって人を集めたら

たいと思っています。  
僕らの社内では「今0歳の子が20歳になるまでは絶対続けよう」を目標にしています。開設して半年、ボランティアスタッフも無理していたし、調理スタッフも無理していたところはやっぱりあって、苦労もありました。がやっと慣れてきましたね。



### あそこ行ってごらん

**松田** 子ども食堂に入っている人は、1歩踏み出せているイメージがあります。来られない人ももう少し気楽に誘えるように、来やすいようなところにしていくことが一番の課題だと

**景山** 全国の子ども食堂でも同じ課題を抱えています。島根県

では、毎年行うシンポジウムやテレビ、新聞等で誰でも来てもいいよとPRしています。引き続き、食堂を含めてみんなで考えないといけない課題だと思っています。  
**板垣** 子ども食堂イコールちよっと事情のある家庭というイメージがもともと根底にあるので、そこを払拭しないとかなか、その1歩が進めないかな。  
**市長** 人目が気になることはあるかもしれませんがね。役所からの周知も受け入れられないかもしれないですね。どうやったらいいのかわかっている人に聞いてもいいかもしれないですね。あと、イベントをしてみたいかがでしょうか。  
**景山** おっしゃる通り体験活動をする食堂も増えてきています。普段子どもが体験したことのない活動ができたり、ある食堂では、従業員が調理をしているところを見学する時間を設けて、従業員のモチベーションアップにも繋がったという話も聞いています。

### 子ども食堂 ごはんだよ

**場所** 炉端かば安来駅前本店  
**開催日** かばの営業日は毎日  
(お盆・正月は休み。そのほか臨時休業あり)  
**開催時間** 17時30分から  
20時まで(月から木曜)  
19時30分まで(金から日曜・祝日)  
**料金** 高校生までの子ども、その連れの保護者は無料  
大学生以上は300円

**板垣** 入り口が広がりますね。の友達が自分も行きたいと来られたこともありました。  
**市長** 私も「ごはんだよ」で食事をいただいで、おふたりがお互いを信頼し合って活動していただけることは非常によくわかりました。この食堂に来られた人の悩みを聞いたりですね、それが、一番大事なことだと思っています。